

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ルシエル 荒尾		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 10 月 25 日		～ 令和 7 年 11 月 26 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和 7 年 10 月 25 日		～ 令和 7 年 11 月 26 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 11 月 28 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	季節やイベントに応じた活動内容を取り入れている	ボランティア等の外部との関りを増やす
2	スタッフ同士でこどもの情報共有や周知がなされている	定期的にスタッフ会議を開催し、日常的に情報の共有を行っている	記録に残し、スタッフ全員がいつでも見返し改善につなげられるようにする
3	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている	管理者だけではなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討を行っている	計画に沿った支援を行う

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数が適切でない	利用人数の調整ができていない	スタッフの確保や子どもの人数調整
2	ひとりひとりに支援する時間の確保が難しい	スタッフの人員不足により、個別支援が難しい状況にある	スタッフの確保や子どもの人数調整
3	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境ではない	人数に対して適切なスペースが確保できていない	パーテーションを設置する

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ルシエル 荒尾				公表日	令和 7 年 11 月 28 日	
		利用児童数	19		回収数	15	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	3		1	人が多い日によっては、狭そうに感じることもある。	今後も子どもたちが安心できるような環境整備と取り組みを考えていながら支援して参ります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	2		3	人数が多い日、スタッフの方が大変だと感じる。	今後も子どもたちが安心できるような環境整備と取り組みを考えていながら支援して参ります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1		2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14		1		冬、いつも顔を赤くして汗をかいているので、少し部屋があついではないか。加湿器もあると風邪の広がりを防げるのでは。とても広く、クッキングやダンスなど色々なイベントをさせていただいているので子供も喜んでます。	常に清潔であること、衛生管理には徹底して参ります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	2		1	声かけの仕方、注意の仕方が適切であり、本人の自己肯定感を高めてもらえてると思う。	引き続き、尽力して参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	1		1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1		2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1		1	いろんな活動があり、子供も楽しみにしている。子供が「イベント予定表」がくるのを楽しみにしています。親も行かせたい活動を色々選べていいです。	引き続き、尽力して参ります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5		3	7	ほぼ平日の数時間しかないので、わかりません。	現在はほとんど交流のない状態となっております。今後の課題として挙げられますので、改善内容として検討していきます。
保 護 者	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	2	4	6	入ったばかりなので、やっているのかわからない。	今後の課題であります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14	1			子供の対して不安なことがある時はお伝えすることで、気にかけて頂けて助かっている。相談したい時も時間を作ってくれて、とても心強くありがたい。子供のささいな行動まで、よく見てくれている。普段の様子、外出時などの写真をlineで送っていただけるので安心です。	引き続き、尽力して参ります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1			送迎時に子供の様子や相談が出来るのでありがたいです。	引き続き、尽力して参ります。

者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		1	13	入ったばっかなので、やっているのかかわりがない。 交流の機会を設けることも今後の検討内容だと考えます。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1		3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	2			LINEで連絡がとりやすいため、仕事をしていても連絡しやすい。 連絡がLINEで出来るので、時間がない時などは、とても便利です。	引き続き、尽力して参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	1		3	何をやる日なのか分かりやすい。 また、写真を送ってもらうことで、どのように過ごしているのかよく伝わり安心できる。	引き続き、尽力して参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13				2	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1		2	訓練をしてきて家で人形を使ってマネをしているので、ありがたい。	引き続き、尽力して参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12			3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	2		3	計画まではみだことないが、定期的に訓練をして下さっているのは周知している。	引き続き、尽力して参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1		3	今までそのようなことがないから、わからない。お迎えの時ちょっとしたことは伝えてくれる。	引き続き、尽力して参ります。場合により、周知はさせていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15				ルシエルでの不安や否定的な言葉を聞かないため、安心してきていると思う。	引き続き、尽力して参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	2			嫌がることがないため過ごしやすい環境を提供して頂いていると思う。 親としても安心して通所させられる。 活動内容によって、楽しみな日とそうでない日があるみたいです。 「今日は、お迎え〇〇さんだった」「〇〇くんと遊んだ」など伝えてくれる事が増えました。	引き続き、尽力して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	2			こちらの要望などに柔軟に対応して頂け、安心して通所できている。	引き続き、尽力して参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ルシエル 荒尾		公表日		令和 7 年 11 月 28 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	利用者様がたくさんの日は狭くて遊ぶスペースや学習スペースが十分に確保できていない。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	適切である。	人手不足を感じる時があるので、職員の増加に努力していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		水筒の置く場所を飲む場所から近くにするようにしたり、動線を子どもが動きやすい配置にしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		定期的に玩具の消毒、清掃を行っている。玩具の片付け場所等も視覚的に示すことで常に片付いている状況を作るように心掛けている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	なっている。	人手不足を感じる時があるので、職員の増加に努力していく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		スタッフ間で意見を出し合う機会を設けている。それ以外にも、日常的に話をしやすい環境を作られている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		月に一度スタッフ会議を行っており、日々の業務を円滑にすすめられるように話し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		月に一度、事業所内で研修を設けている。その際に職員間での話し合いや意見を出し合うなどして共通理解を深めている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		HPにて公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		子どもひとりひとりに合った支援ができるようアセスメントを行い計画書を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		日ごろから現場で支援している職員たちも参加し、子どもの状態やどのような支援が必要かを話し合い情報を共有するようにしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		職員間で話し合っており、それを元に支援している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		日々の行動なども連絡帳や送迎時に聞くことで確認できるようにしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		月一で活動会議を行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節に合った活動や、その時期の食材を使っ ての活動を取り組み固定化しないようにして いる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課 後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		子どもの支援における到達目標等を鑑みて個 別・集団活動を組み合わせた支援を実施して いる。支援の方法は職員でも統一することを 心掛けている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	5		一日の流れ、配置について朝打合せを行っ ている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の 振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		送迎後や次の日、子どもたちの行動や活動の 結果を話すようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につ なげているか。	4	1	口頭での情報共有が多い。	職員全員がいつでも振り返ることができるよ う日々の記録を残していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの 必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み 合わせて支援を行っているか。	5		お仕度や、活動に取り組む時間や、余暇の時 間を設けている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。	5		子どもの意思を尊重する支援を行っている。 自己決定が苦手な子供には選択肢を提示する などして選べるように促している。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、 そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教 育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻 の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適 切に行っているか。	5		送迎時やお便り等で学校との情報共有を行っ ている。その際に子どもの学校での様子や事 業所での様子などの情報交換を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援 事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		5	会ったことない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等 へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している か。	3	2	該当児童が居ないためしていない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する 機会があるか。	4	1	児童クラブに通っている児童が居る。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		積極的に参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課 題について共通理解を持っているか。	5		その日にあった出来事や日々成長している 点、支内容などは日常的に保護者に伝えるよ うにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラ ム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会 や情報提供等を行っているか。	3	2	面談を行っている。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っ ているか。	5		保護者の方に説明している。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思 の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや 家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		計画書を提示し、同意を得てサインをいただ いている。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		定期的に面談の希望を聞き面談している。日常的に保護者の方とお子さんについて送迎時話すようにしている。管理者が面談を行ない悩みや支援について話している。その際に助言をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5		子どもだけではなく、その背景にいる家族・兄妹間の情報共有や実際に交流する機会を設けていきたい。そのためには日ごろからの保護者および家族とのコミュニケーションを密に図っていく必要がある。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		管理者が迅速に対応し、職員間への情報共有を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		行事予定を保護者の方にお配りしている。インスタグラムに活動を掲載している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報が記載された書類等はその目的以外には使用しないようスタッフ間での周知を図ったり、本人の同意なく第三者に情報提供をしないように徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		絵カード等やジェスチャーを用いて意思疎通を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	ボランティアの方を招いての活動をしたことがある。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		月一で避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		持病について保護者の方に書類を書いてもらいスタッフ間での持病、アレルギー等の共有をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		食物アレルギーを持つ子供のリストを作成し、全職員が把握できるようにし、万が一症状が出た際の対応等も保護者の話を元に記載するようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットが事業所内で起こった際は、詳細を当事者が記録に残し、それらの出来事を職員で共有し再発防止策について話し合い検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		研修を行い、職員間で共通認識をもっている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		出来る限りそういったことのないよう話し合うようにし、もしものときのために保護者の方への説明もしている。		